

7月園だより

令和6. 6. 19 No.1
かきの木幼稚園
園長 川井 直子

えんちょうのふでばこ

「時には夏草のようにたくましく生活する子ども達」

①5月28日「外国の文化にふれる日」

今月の留学生はプエルトリコのデイビッドさんと、ロシアのコカレフ・キリルさん。

それぞれの国の紹介を遊戯室で映像を見ながらしていただく。

その後、1人ずつ年長組のクラスに行つて交流をする。

給食のメニューは、園児と同じものをいただきます。

隣の席の子がプエルトリコのデイビッドさんに「ふりかけ」を

熱心にすすめる。

「ねえ、これかけて食べてごらん。おいしいよ！」

「いや、僕はチョット……」

「大丈夫、絶対おいしいんだから！」 ものおじせずつ対等!!

②中庭(亀公園)には2種類の実のなる木があります。

6月1日、びわの実。よく熟れたのを確認し、「収穫、解禁！」の放送。あつという間に1週間でびわの実は食べつくされる。

今は、ライチーみたいな味の山桃が収穫真っ盛り。毎日のように

子供たちが集まっています。

③6月18日今日は「カナブン」と「玉虫」を見つけた。築山で昆虫が

捕れるのを知っていて、雑木の木の下で真剣に目をこらす子ども達。

子ども達は沢山の生きた体験から自分の感覚を

働かせ、自分で考え「知識」を得る。

知識の量は少なくとも自分で考え

能動的に得た知識は

本当に自分のものになる。

幼児教育の大切なポイントである。

こども動物自然公園では
たくさん動物と触れ合いました♪

